

国土地理院 研究開発基本計画 事後評価報告書(案)について

令和7年2月

1. 事後評価報告書の概要

- 前回の「研究開発基本計画」は令和元年～令和5年度までの5箇年計画
- 令和4年3月に中間評価を実施
- 令和5年度末に計画が終了したことにより最終評価を実施し、「事後評価報告書(案)」を作成
- 新しい「研究開発計画」(令和6年度～10年度)は、地殻活動研究センターの計画として、令和5年度の研究評価委員会での意見を踏まえ、令和6年4月に策定

2. 基本的課題と重点研究課題

(1) 高精度測位環境の構築に向けた研究開発

- ① GEONETの次世代化 【観測センター】
- ② VLBIの高精度化に向けた解析手法の確立 【測地部】
- ③ 4次元測地基準座標系の構築 【測地部】
- ④ 航空重力測量による新たな標高決定の仕組みの構築 【測地部】
- ⑤ 準天頂衛星システムの測量分野への適用 【観測センター】

(2) 3次元地理空間情報の構築に向けた研究開発

- ① 測量成果の3次元化 【企画部、基本図情報部】
- ② 既存地図の更新の迅速化 【研究センター】
- ③ 先進光学衛星を活用した電子国土基本図の時間精度向上 【基本図情報部】
- ④ 地理院タイルの提供・利用手法の高度化 【地理空間情報部】

(3) 防災・減災の実現に向けた研究開発

- ① 災害リスク把握のための研究 【研究センター】
- ② 巨大地震発生に向けた監視能力向上のための研究 【研究センター】
- ③ 先進レーダ衛星を用いた地殻変動監視 【測地部】
- ④ GNSSリアルタイム解析による地殻変動の即時把握 【観測センター】
- ⑤ 災害発生時の災害状況把握の迅速化 【研究センター】

(4) 地球と国土を科学的に把握するための研究（地理地殻活動研究センター）

- ① 地殻活動の把握とそのメカニズム解明に関する研究
- ② 地球形状とその変化の詳細な把握に関する研究
- ③ 基盤情報と地形特性情報の高度化に関する研究

3. 報告書の構成

まえがき	
第1章 国土地理院研究評価委員会による外部評価	研究評価委員会での議論等から作成
第2章 国土地理院における内部評価	
1. 事後評価の対象	
2. 事後評価の方法	
3. 研究開発基本計画の各重点課題の評価概要	4. の概要として基本的課題ごとに整理
4. 研究開発基本計画の実施状況と目標に対する評価	基本的課題の下での重点研究開発課題ごとに達成内容、評価、成果、活用状況等を記載
5. 研究の進め方に対する評価	研究開発の推進方策の実施状況、評価を記載
6. まとめ	
7. その他	本事後評価結果と新しい研究開発計画との関係
参考資料	

3. 報告書の構成

5. 研究の進め方に対する評価

1. 関係者との連携
2. 地方における取組
3. 人材育成
4. 研究開発資金の確保
5. 海外展開・貢献
6. 成果の発信
7. 評価の実施

6. まとめ

1. 研究目標の達成度について
2. 研究体制、研究開発、社会実装等について